

# 議会だより

60

のとちょう

2020. 5. 1

3月定例会議 .....	2-5
1月会議 .....	6
一般質問 .....	7-15
議案をチェック .....	16
常任委員会レポート .....	17-18
主な議会活動 .....	19
まちかどインタビュー 編集後記 .....	20



新たな一歩  
力強く前へ



# 向けた支援などを可決！

免許を取得できるよう、新たな運営会社に対して

**一般会計予算額 152億200万円**  
前年度比 ▲26億5800万円 (▲14.9%)

**3特別会計予算額 54億7695万円**  
前年度比 ▲13億612万円 (▲19.3%)

**一般・特別会計  
予算総額 206億7895万円 (▲16.1%)**

水道事業会計	収益的支出	6億8545万円
	資本的支出	13億3311万円
下水道事業会計※	収益的支出	9億7734万円
	資本的支出	8億781万円
病院事業会計	収益的支出	24億4506万円
	資本的支出	4億2231万円

※下水道事業はR2より公営企業会計を適用

## 令和2年度主要事業

### ①自然環境との絆を大切にしまちづくり

- ・内浦クリーンセンター解体  
(3億5506万9千円)
- H21.3に閉鎖した一般廃棄物焼却施設  
(越坂地内)



### ②誰もが住みよいと感じる地域が一体となったまちづくり

- 防災対策の強化
  - ・国土強靱化地域計画の策定 (531万3千円)
  - ・普通河川浚渫・護岸改良 (2780万円)
- 能登自動車学校存続に向けた補助
  - ・設備更新等に係る補助(1000万円)
  - 高齡者講習助成(200万円)



令和2年第2回能登町議会3月定例会議を3月6日から13日にかけて開催し、町長提出議案38件が提出された。議案は令和2年度当初予算、令和元年度補正予算のほか、条例改正や請負契約の締結などであり各常任委員会により審査し全議案を可決とした。人事案件については初日に採決し同意した。

また、請願2件を上程し各常任委員会により審査し採択としたほか、最終日に議会提出議案として1件の意見書を提出し可決とした。

12日には9人の議員が町政全般について一般質問を行った。

令和2年度当初予算

# 能登自動車学校の存続に

能登町と珠洲市が共同して、住民の方々が安心して高齢者講習の受講や設備更新等に係る補助や高齢者講習に対する助成を行う。



### ③地域の魅力を生かしたしごとづくり

#### ●企業研修・サテライトオフィス誘致事業（95万9千円）

- ・人口減少等の「課題先進地」である能登町を、課題解決を通じた企業人材研修の場として活用し、さらにサテライトオフィスの誘致につなげていく

#### ●沿岸沖合漁船員就業対策事業（50万円）

- ・水産業従事者確保のため、小型船舶・海技士免許取得に係る経費の1/2を補助（上限5万円）

#### ●いか釣り漁業経営資金緊急対策事業（200万円）

- ・いか釣り漁業の経営支援のための融資に対し、石川県、能登町、信漁連が利子助成  
融資限度額2000万円、貸付期間5年以内、貸付金利0.5%（県・町・信漁連が各1%助成）  
融資機関：石川県信用漁業協同組合連合会



## 令和2年度主要事業

## ●のと九十九湾観光交流センター（1801万円）

- ・のと九十九湾観光交流センター（イカの駅）開業に係るイベント・広告・指定管理料



## ④健康で心に豊かさを持てる人づくり

## ●新人・再就職介護従事者就業支援給付金（100万円）

- ・介護従事者の不足解消・定着のため、新たに町内の介護保険施設等に就職する介護従事者または再就職する介護従事者に対し3年間を限度として給付金を支給（年間20万円）



## ⑤地域を通して共に学び、まちの未来を担う人づくり

## ●能登高等学校魅力化事業（4832万8千円）

- ・総務省地域力創造アドバイザー制度を活用し、魅力化事業の充実を図る
- ・引き続き給付型奨学金支援や国立大学入学一時金支援事業などの支援事業のほか、「まちなか鳳雛塾（公営塾）」を運営



## ●ドブネ保存管理事業（1261万6千円）

- ・ドブネの修復・展示工事の完了後、正式オープン（年内予定）

## ●三波公民館建設事業（1億5607万8千円）

- ・老朽化した三波公民館の建て替え工事（R1に解体）



## ⑥地域の絆を深め、住み続けたくなるまちづくり

## ●町制施行15周年記念事業（220万8千円）

- ・ギネス記録挑戦世界一長いシーフード串焼きに挑戦

## ●姉妹都市推進事業（192万円）

- ・姉妹都市提携を結ぶ予定の長野県信濃町との記念植樹経費  
信濃町へ「のときりしま」、信濃町から「オオヤマザクラ」
- ・交流支援事業に信濃町を追加（千葉県流山市、宮崎県小林市は引き続き計上）

## ●空家対策推進事業（1331万3千円）

- ・管理者不明の特定空家について、略式代執行による解体を行う  
特定空家の解体補助事業の継続のほか、空家解体ローンの利子1/2を補助



## ■その他事業

## ●宇出津小学校大規模改造事業（1億1681万3千円）

- ・身体面で支援を要する児童の学校生活支援のための改修

## ●有線放送整備事業（8億7854万7千円）

- ・R2事業完了により、町内全域で超高速ブロードバンドサービスの提供が可能となる

## ●白丸漁港海岸保全施設高潮対策事業（1800万円）

## ●セミナーハウス山びこ浴場改修（6803万円）

## ●個別施設計画策定（1808万4千円）

- ・公共施設の適正な管理及び効率的な更新を図るため、個別施設の現状や利用状況  
今後の投資額を推計し、方向性を見いだす

## 令和2年度主要事業

- 東京オリンピック聖火リレー（235万円）
- 全日本学生ソフトテニス選手権（インカレ）（700万円）
- タブレット議会導入（426万7千円）
  - ・ペーパーレス議会の導入を目指し、タブレットを用いた議会運営を実施



※行事等については、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止または延期となる場合があります。

## 3月定例会議（その他議案・請願・意見書など）

### その他の主な議案

- 能登町固定資産評価審査委員会委員の選任について  
小田 宏男氏（大箱）
- 能登町公平委員会委員の選任について  
橘 重克氏（松波）
- 能登町教育委員会委員の任命について  
上見 正人氏（小木）

### 請願

#### 請願2件について付帯意見を添えて採択

##### 『石川県における精神障害者の医療費助成について』

- 要旨：精神障害者保健福祉手帳1・2級所持者に対する精神科・その他の科を問わず外来通院並びに入院医療費に対して、心身障害者医療費助成が受けられるように改善を図る必要がある。精神障害者が他の障害者と同等の医療を受けることが出来る制度を切望する。
- 付帯意見：一級障害手帳保持者に限定する県の意向を踏まえこの請願に賛同する。

##### 『農道（中斉～大久保）の町道格上げに関する請願書』

- 要旨：当該農道沿いには20年以上にわたり営業を行う事業所が複数存在し新たな事業を行う企業も進出している。当該農道は産業道路としての役割をもっており、地域産業の発展のため、当該農道の一部（800メートル）を町道に格上げしていただきたい。
- 付帯意見：公益性と交通量を鑑み、町道に格上げすべき区間は、一般県道与呂見・藤波線から農道神和住12号線の分岐までの約400メートルが妥当である。

### 議会提出議案

#### 能登町議会として意見書を内閣総理大臣ほか関係大臣へ提出

##### ○中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書

要旨：従来、ひきこもりは主として若年・青年層の課題としてイメージされてきたが、中高年層にも及び大きな社会問題としてクローズアップされてきている。

政府としては、これまで都道府県・政令市への「ひきこもり地域支援センター」の設置や「ひきこもりサポーター養成研修・派遣事業」を行ってきたが、今後は、より身近な場所での相談支援の実施や社会参加の場の充実など、就職氷河期世代も含めた中高年のひきこもりに対して、これまで以上に実効性ある支援と対策を講じるべきである。

1月会議（討論など）

令和2年1月27日に、『令和2年第1回能登町議会1月会議』が開会され、町長提出議案3件が提出され、原案のとおり可決とした。そのうち『請負契約の締結の変更について』に対し討論があった。

- 令和元年度 能登町一般会計補正予算（第5号）
- 請負契約の締結について（令和元年度(令和元年発生) 林道災害復旧事業 往古線災害復旧工事）
- 請負契約の締結の変更について（令和元年度放送ネットワーク整備支援事業（ケーブルテレビ事業者の光ケーブル化に関する緊急対策事業）及び令和元年度高度無線環境整備推進事業 能登町有線ネットワーク施設（柳田・内浦地区）再整備工事）

討論

請負契約の締結の変更について（令和元年度放送ネットワーク整備支援事業（ケーブルテレビ事業者の光ケーブル化に関する緊急対策事業）及び令和元年度高度無線環境整備推進事業 能登町有線ネットワーク施設（柳田・内浦地区）再整備工事）



○反対討論  
市濱 等議員

追加予算の同意に明確に反対をする。

この事業は、昨年（平成30年）8月27日付で、柳田地区を入札制限付一般競争入札（事後審査型）で、3億4020万円で日本電気株式会社北陸支店支社長中谷弥氏が落札した。その時点では、追加工事もなく順調に工事が進んだと思っている。その経緯だとは思うが、令和元年度（柳田・内浦地区）再整備工事を随意契約として8億7670万円でNECネットエスアイ株式会社北陸支店支店長嶋山学氏と契約を結んだと理解をしている。

私は、町も職員も全幅の信頼のもと契約したと理解しているが、なぜ今追加予算なのか理解できない。担当の職員からも説明を聞いたが、工事は以前から把握できて容易にわかりそうなものばかりで、このようでは随意契約の意味がないのではないかと。ここにきて5500万円の追加とは理解できない。貴重な血税だ。このような理由で反対討論とする。

○賛成討論

志幸 松栄 議員



賛成討論をする。令和元年6月定例会議で、請負契約の締結について、執行部より上程された議案に対し、私たち議員は全会一致で可決している。契約相手方について、変更契約に問題はないと信じ賛成討論とする。

令和2年第1回1月会議の審議結果（賛否が分かれたもののみを掲載します）

○賛成、×反対、欠 欠席、— 議長は採決に参加しません。

結果可否	議案	議員名													
		吉田 義法	堂前 利昭	馬場 等	田端 雄市	金七 祐太郎	國盛 孝昭	市濱 等	小路 政敏	酒元 法子	河田 信彰	向峠 茂人	志幸 松栄	宮田 勝三	鍛冶谷 眞一
可決	議案第1号 令和元年度 能登町一般会計補正予算（第5号）	○	○	×	○	○	○	×	○	○	—	○	○	○	○
可決	議案第3号 請負契約の締結の変更について	○	○	×	○	○	○	×	○	○	—	○	○	○	○

# いっぱん質問

議員が、町の一般事務に対してその執行の状況または将来の方針、政策的提言や行政への批判などを執行者に直接質問することです。

## 3月定例会議の一般質問（12日）



田端 雄市 議員

### 問 幼保無償化をどう評価するか

### 答 特に評価の検証はしていない

**問** 幼児教育・保育の無償化が始まった。識者からは、その社会的意義が示され、社会において、子ども・子育て支援は、重要な課題との認識に基づき無償化である。事業の執行者として、どのような評価をしているか。



**答 町長** 当町では、従来から3歳以上のほとんどの児童が認定こども園を利用していること、待機児童もいないことから、特に評価の検証はしていない。

### 問 今後の幼児教育の課題は何か

**答** 今ある資源で環境の充実を目指す

**問** 公明党は、事業の推進者として、全国実態調査を実施した。利用者の9割が無償化を評価。また、経済的負担であった保育料も軽減されたとの回答であった。さらに、調査では、今後の課題は、質の向上や人材の育成、確保であった。

**答 町長** （課題を示さず）今ある資源で、できうることを最大限生かして、子育て環境の充実に努める。

町の課題は何か。

### 問 その他質問

質の向上へ人材を確保せよ

保育士不足は、質の低下を招く。児童数の地域間格差を考慮し、公立私立の枠を超えての派遣を提案する。また、民間施設の大規模修繕などに、安心の環境のための支援をすべき。

**答 町長** 保育士派遣は、現実的でない。各園の状況が異なり、現実的でない。施設の改修については、国、県の補助基準に基づき補助している。

その他の質問

SDGs（持続可能な開発目標）について



吉田 義法 議員

## 問 官民協働で見守り体制の構築を

## 答 超少子高齢化社会に向け

### 検討

**問** 児童生徒の登下校や高齢者が安心・安全に暮らすための支えとして、官民が協働で見守り体制を整えることが重要だと考える。現在、内浦地区の商店連盟が見守り機能付きのICカードを導入し、児童と高齢者の見守りに貢献している。

①このシステムと未設置

小学校に端末機を設置することについての見解は、  
 ②未設置地区の学校や商店に端末機を設置する費用を助成できないか。  
 ③子どもや高齢者の見守り機能が付いたカードシステムは今の時代には必要で、町内全域に導入するべきだと考えるが町の見解は。



松波キッズセンターに設置されている見守り機能付き IC カード読取機

### 答 教育長

①見守り機能は保護者にとって安心感などの効果があると認識している。未設置小学校において要望があれば設置済みの学校と同等の対応を行う。

### 答 町参事兼ふるさと振興課長

②経済性の観点から、未設置の商店街に既存システムが拡張されることは理想的だと考える。要望があれば未設置の商店街組織の意見をもとに考えたい。

### 答 町長

③高齢者の見守りはひまわりネットワークにより官民協働で行われているが、超高齢化社会に向け各分野から要望があれば、検討する必要がある。

## 問 沖合イカ釣り漁業者の支援強化を

## 答 関係機関と連携し支援強化を図る

**問** 近年、温暖化や大和堆での外国漁船による違法操業の影響により、スルメイカの漁獲量が激減している。今後も乱獲などの影響により急激な資源回復は難しいと考える。

①漁獲量が回復するまでの期間限定で、燃料代など漁に直接かかわる費用の一部を助成できないか。  
 ②漁業者を支援することを目的としたふるさと納税の返礼品を限定できないか。  
 ③安全に漁ができるよう違法操業の外国漁船の対策強化を、町として国に強く要望する必要があると考えるが、町の見解は。



小木に停泊中のイカ釣り船

### 答 農林水産課長

①直接経費となるものへの助成は難しいが、新年度より県、信漁連と連携し、経営資金対策として長期融資制度を創設する。

**答 町参事兼ふるさと振興課長**  
 ②ガバメントクラウドファンディング※を実施するための内容が寄附者にとって共感できるものか、担当課並びに県漁協小木支所と協議し対応する。

### 答 町長

③出漁の断念や廃船に追い込まれる漁業者が、これ以上増えないように、引き続き漁業者の安全と海域の確保を国に強く求めていく。

※自治体の具体的なプロジェクトを支援するためのふるさと納税





宮田 勝三 議員

## 問 臨時休校時の児童クラブ実態は

### 答 保護者のニーズに対応する

**問** 臨時休校に入った県内の小学校が40校、延べ1千453人と報道されているが、当町の実態は。また、文部科学省は、教職員を児童クラブ支援員として従事させることなど、学校の施設を活用することを認めているが、町の対応策を聞く。

**答** すでに学校に預かっている現場には、いろいろな事で苦慮させていると聞く。細部にわたり、協議検討のうえ、万全を期してもらいたい。



ノーム児童クラブ（こどもみらいセンター）

**答 教育長** 現在のところ、既存の放課後児童クラブで対応しており、学校施設等の利用はない。放課後児童クラブが対応できない場合や、受け入れの相談があった場合、学校施設の活用並びに教職員の人的支援も可能であり、状況によっては、保護者や事業所等のニーズに対応したいと考えている。その際は、健康福祉課や関係機関等と連携を取りながら進めていきたい。

## 問 企業への資金繰り支援を

### 答 各種融資制度の周知に努める

**問** コロナウイルス感染拡大が温泉地のキャンセルを仰ぎ、また、製造業の生産に大きな影響を与え、漁業にも魚価低迷に拍車をかけている。公社も3月の予約がほとんどキャンセルで、町内業者の方にはそのしわ寄せがいつている。国の施策もあるが、昨今の諸事情を踏ま

えて独自の融資制度の創設をすべきである。

**答 町長**

町独自の支援融資の創設はしていないが、国、県等では相談窓口を設置し融資策以外にも様々な支援策を講じており、今度も国や県の動向を注視しつつ、必要とする企業に情報が行き渡るように町商工会をはじめ、関係部署と情報を共有し、各種融資制度の周知に努めていきたい。

## 問 その他質問

**住環境整備事業で造成した宅地の方向性を示せ**  
平成5年度より神野地区で住環境整備事業が行われ、ほ場整備と併せ上下水道の整備や、新規宅地予定地を創出し、その



住環境整備事業を行った当時の風景（神野地区）

面積1千800坪に余る大きな町有地であり、宅地として現存しているが、現状は地域から苦情が出るほどの荒れ状態である。事業の概要を聞く。また、宅地の今後の方向を示すべきである。

**答 農林水産課長**  
宅地の有効利用を目指したい

平成5年度から13年度にかけて総事業費16億8980万円であり、ほ場整備と農道、集落道の整備に加えて居住環境の確保というところで、宅地9区画を整備したが、現在は利用に至っていない。

**答 町長**  
今後については、当該土地の管理を始め、分譲や貸付等、広く情報発信に努めていきたい。



馬場 等 議員

## 問 学童保育の現在の実施状況は

### 答 4つの学童保育とも長期休暇対応

**問** 国より小中高校の臨時休校要請を受け、学童保育の受け入れが始まっているが、実施状況は。

**答** 健康福祉課長 3月2日より各4つの学童とも長期休暇対応をとっている。児童館を休館とし、まつなみキッズセンターの職員2人をノームとくぬぎに、それぞれ応援をお願いし対応している。

## 問 学童保育施設内での感染症対応は

### 答 国や県の指導の下必要な措置を

**問** 一部屋しかないささゆりや、くぬぎは、感染防止のための十分な空間の確保ができていないように思うが、感染症への対応は。

**答** 健康福祉課長 国、県の定める運営基準による児童1人当たりの面積1・65平方メートル以上を確保している。自宅で児童の体調確認や検温を行い、発熱の症状が見られる場合は、登所を断っている。手洗い、消毒、換気などを徹底し、国や県の指導の下、必要な措置を講じている。



くぬぎ学童クラブ（鶴川公民館）

**問** その他質問  
小学校の施設を活用できないか  
学童保育だけでは、預かり人数を増やす為の十分なスペースも確保できない。低学年の子供たちの受け入れと一部屋しかない学童保育は、小学校の施設を開放できないか。

**答** 教育長 学校施設の利用は検討による  
現在のところ、既存の学童保育で対応しており、学校施設等の利用はしていない。今回の新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一定のスペースが確保できないと判断された場合は、担当課や学校と協議した上で、学校施設の利用や教職員が臨時的に学童保育の業務に携わることについて、職務命令を発令することも検討したいと考えている。  
**なぜ、実施に関する詳細を校長判断に**  
今回のような感染へのリスクのある中で、卒業式を行うことを考えるならば、教育委員会か、あるいは町が、実施に関する詳細について指針を出すべきだと思うが。

**答** 教育長 学校運営は、すべて校長が責任を持つ  
児童生徒の数に応じた式次第や時間短縮等の詳細な件に関しては、校長の判断と責任の下で行うべきであり、すべて学校の中においては、学校の校長が責任を取るべきである。

学童保育現在の実施状況(3月2日～3月24日)

	開所時間(時)	児童数(人)	職員数(人)	部屋の広さ㎡
ノーム(宇出津)	8:00～18:00	21(23)	5(4)	95.0
くぬぎ(鶴川)	8:00～18:00	8( 9)	3(2)	25.5
ささゆり(柳田)	13:00～18:00	8(18)	3	62.0
つくし組(松波)月～金	7:00～18:30	10(10)	2	59.8
つくし組(松波)土	7:00～17:15			

児童数( )内は登録数、職員数( )は通常の人数

学童保育実施状況表 (3月2日～24日)

## 問 プレミアム商品券 事業内容を問う

答 約4150万円の  
経済効果見込み

問 プレミアム商品券の対  
象者と申請者の数は。

答 町長

今回のプレミアム商品券事業については、消費税増税による消費の落ち込み抑止等のため、子育て世帯や低所得者に対して2万円で2万5千円の商品券が購入できる事業である。

能登町のプレミアム付商品券事業は、非課税者対象人数4千210人の



酒元 法子 議員

問 プレミアム商品券が及ぼす町への経済効果は。

答 町長

町への経済効果は、まだ事業が完了していないため確定ではないが、申請状況から推計すると発券総額で約4150万円の経済効果を見込んでいる。

うち1千886人で、申請率は44・8%。県内の平均申請率は43・4%となっており、県内でも6番目に高い数字である。(2月21日現在)

問 住民への周知方法は。

答 企画財政課長

対象者と見込まれる方に郵送で案内し、対象者の方は、役場へ申請をする。その締め切りが去年の11月だった。余りにも申請率が低かったもので、まだ来ていない人に再度申請の案内をした。あとは有線テレビ、広報、また郵便で案内などの周知をしている。



能登町プレミアム付商品券 (見本)

## 問 高齢者運転免許返納の実情を問う

答 返納しやすい環境作りに努めたい

問 高齢者の運転免許証の返納数や率は。

答 町長

珠洲警察署から情報だと、運転免許の自主返納件数は県内全体で令和元年は4千892件、うち高齢者は4千754件で、過去最多を更新したとの内容であった。また、能登町管内では121件の自主返納があり、5年前

の40件に比べ3倍強となっており、免許返納の件数は年々増加傾向にあると思っている。

この背景には、高齢運転者の問題への関心や各自治体における返納制度が周知されてきたことが推測される。

問

高齢者運転免許証返納のメリットとデメリットは。

答 町長

一般的には、車を運転しないということで事故へのリスクが減り、車が不要になる分、車検代や維持費がかからないという金銭的なメリットがあると考えられる。

また、当町では65歳以上の自主返納した人に対して、運転経歴証明書の交付手数料の補助や、町の共通商品券2万円を交付しているが、こうした自治体の支援や様々な民間企業で割引などの特典を受けることができる。

一方、デメリットは、自動車の運転ができなくなるということ、買い物や通院などの交通手段が限られてくることや、行動範囲が狭まる傾向が予測される。

問 公共交通機関の充実と交通体系の構築は。

答 町長

当町では買い物や通院などに車以外の移動手段が少ないため、運転免許の返納をためらう方が多いのが現状であると思っている。そのため、公共交通機関の充実と、運転免許を返納しやすい環境づくりの支援策を同時に進めていく必要があると思っている。

当町では、路線バスが運行していない交通空白地帯については、予約制乗合タクシーの利用を促進している。宇出津病院等の中心部と自宅の玄関を結ぶ乗合タクシーが、交通空白地の解消と、運転免許返納後における高齢者の交通対策に最も効果的であると考えている。この制度を中心に添えて公共交通機関の環境づくりの構築に努めていきたい。

また、スクールバスでの住民混乗ということであるが、柳田地区以外の区内については民間事業者による路線バスが運行されているので、そちらを利用するのがいいと思っている。



志幸 松栄 議員

## 問 主な事業及び一次産業の振興策は

## 答 従来よりの施策を推し進めていく

**問** 当初予算を編成した中で政策の柱としている、防災・福祉・教育に関連した主要な事業は。また、一次産業における新たな振興対策等は。さらに、雇用拡大における事業主体へのサポートとしての政策について問う。

**答 町長** まず、防災面では避難路を整備するほか、今後の様々な計画の指針となる国土強靱化地域計画を策定。また、普通河川の氾濫防止のための事業を行う。



能登町宇出津港水産物鮮度保持施設から出荷

福祉面では、新人・再就職介護従事者就業支援給付金制度を創設し、介護従事者不足の解消と定着を図りたい。

教育面では、身体面でサポートが必要な児童の学校生活支援のための改修を行うほか、全小中学校においてコンピュータ環境の整備に向け校内ネットワークを強化し、教育環境の向上を図っていききたい。

そのほかとしては、地方創生や観光振興、一次

産業の振興等々各方面にわたり所要の予算を確保。次に、一次産業における振興策として、漁業面では経営資金不足に対する低利融資制度や、漁船の運行に必要な免許取得費用を助成する制度を創設。

また、昨年開設された金沢大学の能登海洋水産センターでの研究成果を、地域に還元する取り組み等を含め、当町の漁業振興に活かしたい。

## 問 介護福祉の利用の概要等を問う

## 答 現在のサービスを維持したい

**問** 当町で行っている介護福祉の利用概要は。また、高齢者向けの入浴に対し町なかの銭湯も含め、何か考えがあるのか問う。

で、健康で長生きが一番である。

次に、入浴の関係だが、当町では運営を委託している入浴施設は、国民宿舎うしつ荘をはじめ6施設ある。いずれの施設も徒歩での利用は困難な位置にある。

また、銭湯は宇出津にあり、町の中心部で徒歩での利用は可能と認識している。この銭湯では毎月22日65歳以上及び小学生以下は無料なので、積極的に利用してもらいたい。

なお、参考だが、うしつ荘等では10名程度食事とセットで、事前に予約すればバスの送迎をしてくれるとのこと。

**答 健康福祉課長** まず、介護保険事業サービスの利用状況は、第1号保険者数65歳以上の方で保険料を納めている方は8千人弱で、介護サービスの利用者は、月平均で1千100件超え、総合事業利用者は696件となっている。いずれにしても、毎月1千人を超える方が介護保険サービスを利用している。

今後、団塊世代の方が75歳に入り込んでくるので、令和6年頃がピークであろうと予測されるの



市濱 等 議員

## 問 病院での新型コロナウイルス対応は

答 感染予防対策委員会で対応

問

新型コロナウイルス報道が頻繁になってから、関係部署との協議は何回協議されたか。関係者に指示されたことは何か。電話等問い合わせ、来院者に対してどのように対応するのか。来院者の入り口は特別に設けるのか。医療事故、プライバシー保護が心配だ。内科診察室の改修も早期に行うべきだ。

答 町長

2月20日から、3月12日までに計4回開いた。決定事項は院長が承認、実行する。職員にも周知情報を共有している。疑われる人には、発熱外来として対応、夜間祝日も同じで、病院のフロアによる診察である。入り口は通常外来と同じで、標準予防策で診察する。入院できる体制は準備している。診察室の改修も懸案のひとつだが、外来の診察を停止しなければならず、その他問題が多いので取り掛かれない。

## 問 内浦ごみ焼却場の解体理由を問う

答 施設の老朽化が激しく使用不能



老朽化により解体される内浦クリーンセンター

問

多くの経費を投下した設備が、わずか10年稼働しただけで解体するのは如何なものか。ファシリティマネジメント※に当てはまる項目が見当たらない。他の自治体では元気に稼働している。東日本震災処理にも活躍した設備だ。解体予算3億2560万円、誰がどのように積算したのか、再生資源はどのように処理するのか。

答 町長

15年間使用の予定が、焼却炉等に大規模な修繕が必要で、4年間早めて休止した。現在奥能登クリーンセンターで、焼却炉建設中ではない。

答 住民課長

解体工事に実績のあるコンサルタントに依頼した。再生資源に関しては発注当時の相場でマイナス計上する。伝票等で数量は確認する。

※ファシリティマネジメントとは、組織が保有する全施設資産及びそれらの利用環境を経営戦略視点から総合的かつ統括的に企画・管理・活用する経営活動。



堂前 利昭 議員

## 問 寒ぶりまつりの選定経緯と波及効果は

### 答 会場の選定と周知は今後検討する

**問** 今回の会場の選定経緯と是非を聞く

**答** 町参事兼ふるさと振興課長 寒ぶり祭り実行委員会が主催し、事務局は町商工会が担当しているイベントである。

町では、能登町役場新庁舎落成記念イベントを新庁舎で1月中旬に開催することを以前より計画していた。開催が同時期であり、会場が宇出津地区であることから、同時に連携して開催する事でPR及び誘客の相乗効果を期待して、寒ぶり祭り実行委員会に新庁舎駐車場の開催の協議を申し出たところ、実行委員会で開催場所が新庁舎横駐車場を実施する事が決定された。



役場新庁舎周辺で開催されたのと寒ぶりまつり

**問** 寒ぶり祭りが、全町にどのような波及効果があったのか。

**答** 町参事兼ふるさと振興課長 一つのイベントで町内全体の波及効果はないというふうには思っている。商工会をはじめ県漁協、能都支所や仲買人組合、能都商業振興協同組合、町観光協会、能登町ふれあい公社の方々の経済効果はあったというふうには聞いている。イベントは、実行委員会の主催で実行しており、町から依頼するものではないが、臨時シャトルバスの位置、あるいはイベント会場の選定及び周知活動については、今後検討するように呼びかけていきたい。

## 問 町財政状況を問う

### 答 厳しい財政状況になると

#### 見込む

**問** 町債の全体金額とその内容を。ここ3年から5年の町債の推移は。

#### 答 町長

町債については、公債費による財政負担を客観的に示す指標として実質公債費比率がある。財政健全化法が施行された平成20年度には19.2%であったが、新規町債の発行抑制や計画的な繰上償還を行ってきた結果、平成30年度決算では10.5%となり、8.7ポイント改善している。この指標が18%を超えるのと町債の借入れに県の許可が必要となり、町債発行が制限されることになるので、18%を超えないよう今後も財政運営に取り組みたい。

今後の見通しについては、近年の大型事業の実施による公債費の増や人口減少による地方交付税の減を見込むと、財政状況は厳しい状況になると見込むが、事業の選択と集中や公共施設の最適化、

## 問 その他質問

ごみ焼却施設建設を問う。

設計段階からの業者選定方法を聞く。

#### 答 町長

珠洲市との組合議会の為、詳細な説明は控える。能登町と珠洲市が構成している一部事務組合で

そして積極的な繰上償還の実施など、さらなる行財政改革を進める。

#### 答 企画財政課長

平成30年度決算における町債残高は215億8918万9千円、令和2年度末の現在高は230億2817万5千円と見込んでいます。町債の種類は、元利償還金の一部に交付税に算入される町債のうち、特に70%以上が算入される有利なものとして、過疎対策事業債、辺地対策事業債、合併特例事業債などがあるが、これらの町債残高が202億円と残高のうち約88%程度を占めている。当町では、これら有利な地方債を可能な限り活用しながらインフラや施設の整備を行って行くところである。今後の残高は、旧能都庁舎の解体やごみ焼却施設建設など、新発債を見込むと令和4年度に240億円の残高ピークを見込んでいます。また、公債費では令和10年度に年間29億円の償還のピークになると見込んでいます。

建設後のランニングコストをどう捉えているのか。

#### 答 町長

基本計画、基本設計で建設コストと合わせ検討を行いながら施設計画、設計をしてきており、施設運営にかかる費用としては、ごみ1トンあたりおよそ3万円程度と見込まれ、現行のRDF施設の維持費のほぼ2分の1程度になるということである。



向峠 茂人 議員

問 空き家対策事業を問う

答 適切な管理促進に努めている

問

現在の実態と問題点は。

答 町長

平成29年度に管内全域を実態調査した結果、使用実態がない空き家等と判定された物は1千150件あり、利活用が見込まれるランクA、Bの空き家は定住促進協議会と情報を共有し、また、保

安上危険な状態にあると判定されたランクC、Dの空き家は所有者等に対し、助言、指導の行政措置を行っている。現時点で71件の空き家等の審査を行い、特定空き家等の認定をした52件のうち17件が解体や撤去を行っている。しかし、特定空き家等に認定され、町の補助金付与が適当とされた空き家でも、実際は解体

や撤去まで進まないのが現状である。

問

対応策と今後の取り組みは。

答 町長

解体や撤去が進まない理由は、危険な空き家として意識の低さや、解体に費用がかさむこと、相続の手續きがなく空き家等の存在自体を把握しておらず、責任の所在が相続人の間であいまいになり、空き家の管理放棄に繋がり、放置されていると思う。その対策として、遠方にいる方に代わ

り、見回り清浄等を行う空き家等管理代行サービスの紹介、利用可能な空き家には、ふるさと空き家情報サービス制度の利用を進め、管理不十分な空き家の抑制に努めている。また、土地、建物を売買したい物件は町の定住促進協議会、宅地建物取引業組合に相談してもらいたい。

問 公務出張(首都圏)の実態を問う

答 他の役職でも出張成果を追求していく

昨年、町長職のほかに、石川県漁港漁場協会会長、道路整備促進協議会副会長、町長会副会長、県や国の関係団体の役職にある。それに伴って要望活動を中心に出張がある。

内浦総合支所においては、構内道路が広がったため、ドライバーがスピードを出しづらい措置を早急に対処した。庁舎正面玄関横に屋外時計を望む声が多く、設置した。庁内に地元ゆかりの崑山一清氏、坂坦道氏の作品を展示、また、季節の花を飾り、親しみを持ち気軽に来てもらえる環境づくりに努める。

問 その他質問

新庁舎に対する町民の声は(柳田・内浦総合支所を含む)

答 町長

1階ロビーに設置してある意見箱に、提案、改善点などの貴重な意見や、広くて使いやすいといった良い意見もあり、慎重に検討し提案に答えられるように対処したい。

答 柳田総合支所長

柳田総合支所の駐車場問題、案内看板不足の意見もあり対処した。また、木の香りやエントランスが広く、大変良いとの意見もあった。

答 内浦総合支所長



# 議案をチェック

## 3月定例会議の議案質疑

田端雄市 議員

**総合戦略推進費の課題解決型企業誘致支援業務の内容は。**

町参事兼ふるさと振興課長 当町にはない成長分野の情報通信、あるいは高付加価値を生産するサービス業の誘致に向けた第一歩として進めていくものである。まず首都圏の企業に能登町に来てもらうために能登町を知るスタディツアーを開催したいと思っている。これに参加する企業の募集やツアアーのコーディネートや課題解決型企業誘致支援業務として東京のプロボノ団体※と連携をして行いたい。

田端雄市 議員

**新人再就職介護従事者就業支援給付金の内容は。**

健康福祉課長 介護福祉士等の国家資格を持った方が就職された場合には、1年間20万

計算すると1600万円になるという事で予算計上した。



馬場 等 議員

**旧能都庁舎解体の予算は何を使うのか。**

町参事兼ふるさと振興課長 解体の設計委託440万円、そして調査1885万1千円を計上した。役場周辺の解体時における住宅等の建物の調査費である。解体の場所から、半径40mにかかる建物について、解体工事を始める前にそれぞれの建物を調査する費用を計上した。

企画財政課長

解体の財源は、解体後の上屋の整備が決まっておらず、今のところ決まっていない。

馬場 等 議員

**合併特例債の残額はいくらか。基金として積んだものはずっと使えるのか。**

企画財政課長 発行予定額は1億250万円である。1年延長した。基金は10数億円残っている。今後もずっと使える。

鍛冶谷員一 議員

**財政管理費の委託料、個別施設計画策定業務1808万4千円の内容は。**

企画財政課長 合併後の市町村においては施設全体の適正化を図る必要がある。個別施設ごとの具体的な対応方針を定める計画として、点検、診断によって得られた個別の施設の状態、それから維持管理、更新等に係る経費を含めて、今後、優先順位も考えながら施設の内容や実施時期を定めるものというところで、この計画をつくるものである。

施設数は317を予定し、建築延べ床面積は、今現在20万平米。それを10年間で20%削減を目標としている計画である。

鍛冶谷員一 議員

**一般財産管理費、工事請負費の内容は。**

企画財政課長 主な工事として昨年度からの継続事業であり、小木の高浜地区の民家裏の町有地ののり面工事をしている。令和2年度で完成予定だが、その部分で1295万8千円を計上している。崎山山村センターの駐車場の区画線をきれいにする経費238万5千円を計上した。

鍛冶谷員一 議員

**新庁舎、各総合支所、各支所の管理費について需用費、光熱費、燃料費、修繕費などあるが、ランニングコストを詳しく説明せよ。**

総務課長 小木支所は、需用費196万2千円を予算計上した。その中に燃料費1万7千円、電気使用料138万8千円、水道使用料が8万9千円、ガスの使用料9万4千円。鶴川支所の需用費には、維持管理経費として燃料費の7万9千円のみ含まれている。

企画財政課長

能都庁舎管理費分で2637万6千円計上した。それが現在、庁舎管理費では、4159万6千円で1522万円増となった。

柳田庁舎は382万円、支所費では513万8千円で、131万7千円の増である。内浦庁舎の管理費は、昨年は1031万円となっていた。本年度は873万8千円で、157万2千円の減と予算ベースでは、そうなった。トータル的には、1496万5千円の増になる。

トータルで、予算ベースでなく決算ベースで見ると、3庁舎合わせて2300万円ほど増となった。

市濱 等 議員

**防災上の緊急発電用電源が72時間と長時間の対応が迫られているが、新庁舎には、その設備は整っているのか。**

総務課長 新庁舎において72時間の電気、非常電源を確保している。



# 総務産業 建設委員 会

國盛孝昭 (委員長)  
吉田義法 (副委員長)  
小路政敏 酒元法子  
河田信彰 志幸松栄  
宮田勝三

のみで、災害が起きない  
ようにするため。  
森林整備地域活動支援  
事業の交付金とは。

森林環境譲与税基金に  
ついて、状態の悪い森林  
を町が適切に整備する  
とあるがどうだろうか。

森林経営管理計画を立  
て、森林を今後どう活用  
していくかプランを作る  
のだが、それから外れた  
森林について、所有者等  
に意欲と能力がある団体  
を紹介しそこに預けるか、  
自然条件等が悪く採算が  
取れない森林を町が預か  
り管理していく。近年の  
異常気象等で発生した災  
害で、被害を受けている  
原因の一つが手入れ不足  
であり、町が預かって管  
理していくのは切り倒す

境界や所有者が明確で  
ない森林について境界確  
認などを行うためのもの  
である。所有者や境界が  
分からないことが、森林  
施業の進まない、山の活  
用が行われないというこ  
との要因であり、それら  
のものを解決していくた  
めの事業である。

ロスチャイルド家との交  
流会の開催や、古木を植  
物公園に移植して保管し  
ていくという事業への助  
成である。  
レンタカーの利用台数  
を2千500台と見込んで  
いるが、前年度がどれ  
くらいで、レンタカーの  
利用で能登町にどのくら  
いの人が訪れたのか。  
平成30年度は2千36  
3台、平成29年度は2千  
414台で過去2年では  
およそ2千500台とな  
っている。レンタカーを  
助成するときは代表者の  
免許証のみの写しの提出  
を求めているが、人数は  
記載していないため正確  
な人数はわかりかねる。  
少なくとも申請者数の  
2・5倍くらいはいるの  
ではないか。

昨年、のとキリシマ  
ツツジの交流でイギリス  
を訪れたが、今年は正式  
にのとキリシマツツジの  
寄贈という能登町を大々  
的にアピールできる年  
ではないか。予算が計上さ  
れていないのはなぜか。  
贈呈式に同行してイギ  
リスに渡航する費用のこ  
とかと思うが、その他に、  
世界にのとキリシマの魅  
力を発信していく際に、  
キーパーソンになってく  
るのであろうヨーロッパの  
大富豪ロスチャイルド家  
の歌手シャーロット氏が  
金沢市の音楽祭に訪れる  
機会を捉え、能登町でも  
公演を行うための費用も  
ある。

去年、イギリスに訪問  
した際に「今度は能登町  
に来る」という約束が交  
わされたと聞いている。  
その費用については農林  
水産課の予算に計上され  
ている。  
しかし、イギリスへ  
行って贈呈式を行うこと  
については、これまでN  
POで進めてきたことの  
延長であり、今回一般会  
計予算に同行するための  
費用は計上していない。  
それについては、予算  
化の検討を。  
検討する。

対象物件として調査する  
というもの。所有者や使  
用者、建物の傾きなども  
含め、道路に囲まれてい  
る区域の調査をする。工  
事を実施する前と後に調  
査し、どのような変化が  
あったかを調べるもので  
あり、37件ある。  
旧庁舎は、確実に解体  
するということか。  
現在、設計を進めてお  
り、5月には解体工事の  
実施設計が出来上がる。  
工事を実施する前に、事  
前調査が必要であり、当  
初予算に計上した。  
除雪体制（路線、業  
者）が実態に合っていない  
のでは。例えば、除雪  
計画に必要なない路線が  
まだ入っていたり、技術  
的能力のない業者が入っ  
ていたり。業者任せにせ  
ず、町で把握したほうが  
いいのでは。  
除雪路線は約380キ  
ロメートルある。町の保  
有機械が29台、民間借り



上げ機械が146台ある。民間借り上げ機械の中には、小さなバックホウや、歩道除雪機、ブルドーザーなど小さな機械がいくつもある。適正な路線にその機械が振り分けられているか、または業者がその路線を担当しているかも含めて、除雪の前に各地域の担当業者と打合わせしている。必要のない路線や、基準については同じ基準で対応しており、雪の降り方や幅の狭い道路など、諸条件の違いなども打合せを行う。

町営住宅の利用者が周辺の掃除をしていない、使い方が雑だと思われるが、掃除当番のような決まりはあるのか。

指摘のとおり状態が悪いところもある。条例の中には、共有スペースというものがあり、例えば草刈りをする等、決まりがある。今後、管理について指導する努力が続ける。

本庁方式にしたことで維持管理費が減額になるのか。

庁舎の光熱費等が増額になる。しかし、庁舎間を週3回、文書配達や連絡のために運転手をつけて回っていた。そういう経費は削減が見込まれる。経費的なことではないが、庁舎が一つになり、各課の連携がスムーズになったことが一番のポイントではないか。例えば

ば、先日のコロナウイルス対応でも課長を招集してもすぐに参集でき会議ができる。

3署体制としての最善の体制づくりに努めていく。

## 教育厚生委員会

田端雄市(委員長)  
馬場 等(副委員長)  
堂前利昭 金七祐太郎  
市濱 等 向峠茂人  
鍛冶谷眞一

内浦クリーンセンター

この施設は平成9年に焼却センターとして完成。平成21年、RDFとの重複もあり休止して10年程経過した。外観は良いが、機械設備が使用に耐えないので、やむを得ず解体したいと予算計上した。ダイオキシンをはじめ有害危険物やその他の残渣

この施設は平成9年に焼却センターとして完成。平成21年、RDFとの重複もあり休止して10年程経過した。外観は良いが、機械設備が使用に耐えないので、やむを得ず解体したいと予算計上した。ダイオキシンをはじめ有害危険物やその他の残渣



児童数減少により閉鎖される上町保育所

スタントの立場。中学では英検の取得率が少ずつ上がっている。教育課程外では小学1・2年生、教育課程内では小学3年生、4年生は外国語活動で、5・6年生になると英語科が令和2年度から始まる。全体の成果については県平均並みには達成している。

成人式は地域のバランスも考慮して、内浦に戻すべきと提案する。

令和2年度は、この統合庁舎で行う計画で予算を計上している。

宇出津小学校のエレベーター設置事業について財源をきく。

事業費1億1681万円に対して、国の支出金が3477万円、地方債が8180万円、一般財源が24万円であり、障がいを持っている児童にも平等に学ぶ機会を得てもらう事業である。

1月から3月の主な議会活動

- 1月4日 町消防団出初式
- 1月6日 役場新庁舎及び柳田・内浦総合支所開庁式
- 1月10日 交通安全祈願祭
- 1月12日 町成人式
- 1月20日 教育厚生常任委員会
- 1月20日 令和元年度奥能登市町議会議長連絡協議会議員研修会（能登町役場）
- 1月22日 広報編集特別委員会
- 1月27日 議会運営委員会・全員協議会・第1回能登町議会1月会議
- 1月28日 石川県町村議会議長会臨時総会（県社会福祉会館）
- 1月29日 千葉県流山市と岩手県北上市との姉妹都市締結に係る調印式（千葉県流山市）
- 2月18日 新潟県阿賀町議会行政視察（来町）
- 2月21日 津幡町議会行政視察（来町）
- 2月25日 能登地区町議会連絡会
- 2月28日 議会運営委員会
- 3月3日 議員全員協議会（～4日）
- 3月6日 第2回能登町議会3月定例会議（議案上程）
- 3月9日 各常任委員会
- 3月12日 第2回能登町議会3月定例会議（一般質問）
- 3月13日 第2回能登町議会3月定例会議（採決）
- 3月30日 石川県町村議会議長会議長協議会・石川県市町議会議員公務災害補償等組合議会定例会（能登町役場）



視察に訪れた新潟県阿賀町議会



能登町成人式

令和元年度出欠状況表

○…出席 欠…冠婚葬祭 通院 私事都合等により欠席 一…対象外 オ…オブザーバーとして議長が出席

月 日	会議名	議員名													
		吉田 義法	堂前 利昭	馬場 等	田端 雄市	金七 祐太郎	國盛 孝昭	市濱 等	小路 政敏	酒元 法子	河田 信彰	向峠 茂人	志幸 松栄	宮田 勝三	鍛冶谷 眞一
02/01/20	教育厚生常任委員会	-	○	○	○	○	-	○	-	-	-	○	-	-	○
02/01/20	令和元年度 奥能登市町議会議長連絡協議会議員研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
02/01/22	広報編集特別委員会	○	欠	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○	
02/01/27	議会運営委員会	-	-	-	○	○	○	-	○	-	才	○	-	○	
02/01/27	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
02/01/27	1月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
02/02/28	議会運営委員会	-	-	-	○	○	○	-	○	-	才	○	-	○	
02/03/03	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
02/03/04	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
02/03/06	3月定例会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
02/03/09	各常任委員会	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	
02/03/12	3月定例会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
02/03/13	3月定例会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	



インタビュー



（インタビュー）  
堂前 利昭

今回のまちかどインタビューは、今年度から柳田植物公園の指定管理者となった合同会社能登みらい創造ネットワーク代表の竹内剛さんです。

「にぎやかな過疎」  
—柳田植物公園から奥能登の観光の流れを変える—

◆合同会社能登みらい創造ネットワークとはどういう団体ですか？

弊社は、能登町の企業家6名と能登町出身の監査役で構成する会社です。柳田植物公園は、他所から来た人たちが皆さん「すばらしい」と仰います。ここはいろいろな可能性を秘めているので、地元の人々のアイデアを自分たちの手で実行に移し、「にぎやかな過疎」を実現しようと思ってきました。

◆植物公園を今後どうしたいですか？

総面積35畝で、2万2千㎡の芝生広場をもち、飲食施設、星の観察館、コテージなどを有する施設は他県にもない構成になっています。植物公園というのですから、花の景観を工夫しながら、それぞれの施設の中身の充実を図ります。その過程で、町内の方々の参加や他地域の人々に関わっていただくことが大事だと考えています。英国風の庭園をつくるというのものとキシマツツジのご縁でつながったロスチャイルド家の有名なエクスペリメンタルガーデンとの接触から生まれたアイデアです。

◆「みらい創造」という名前は少し大きすぎませんか？

こういう施設は行政にとつて、ときには負の遺産になります。私たちが貴重な財産だと思っています。というのも、様々なイベントもあり、飲食施設が充実すれば宿泊ニーズは確実に高まります。能登町での宿泊は、奥能登周遊の観光の形が滞在型に変わるといふことなので、地元におちるお金も変わってきます。これが私たちの子供や孫に残す資産になるので、「みらい創造」という名称にしました。



柳田植物公園を眺める竹内さん

次の定例会議は6月8日開会です。

議会の日程については、決定しだい町のホームページ、または有線テレビでお知らせしています。ぜひ傍聴にお越しください。ご意見などありましたら、議会事務局へご連絡ください。

広報編集	
特別委員会	
委員長	酒元 法子
副委員長	堂前 利昭
委員	吉田 義法
	馬場 等
	河田 信彰
	鍛冶谷 眞一

編集後記

柳田植物公園ができて、33年が経ちました。竹内さんの父である竹内虎治元村長そして山口彦衛元村長へと受け継がれて来ました。もう一度活気ある柳田植物公園にしたい、そして地域住民と能登を訪れる人々の心休まる場としたいと一生懸命でした。私は、柳田植物公園再生をこの能登みらい創造ネットワークのメンバーに託したい。

委員 堂前 利昭